



早稲田大学ビジネススクール

インベスター
Investor
リレーションズ
Relations
オフィサー
Officer
養成講座

2006.9.4(mon) - 9.8(fri)

インベスター
Investor
リレーションズ
Relations
プロフェッショナル
Professional

養成講座 (導入編)

2006.7.1(sat) - 7.2(sun)

はじめに

IR活動の浸透と共に、IRの実務経験を活かしてIROとしてのキャリアアップを志向する企業人が増えてきました。また、どのようにIROを育成し自社の経営に貢献させるかという課題を担った経営陣や財務担当役員も多くいらっしゃいます。このようなニーズに応えて、早稲田大学では、これまで2年間の開講実績を踏まえ、9月4日(火)より、5日間の集中IRO養成講座を開講いたします。修了者には、早稲田大学から、IROとして必要な知識・ノウハウを習得したことを証明する修了証が授与されます。

開講趣旨について

「企業戦略としてのIR」第1回は「受動的IRから能動的IRへ」、第2回は「転換点を迎えたIR活動」をテーマにしてIRO養成講座を、関係者の協力を得て開催してまいりました。お陰をもちまして受講者および関係者から高い評価を得ることができました。また、IRO養成講座の入門編を兼ねて、昨年、わが国資本市場の実態に照らし、上場企業でありながらその企業価値が資本市場で適確に評価されていない発行体、あるいはIPOを目指す企業を対象として、IRの基本を学びつつ機関投資家の投資ユニバースに入れない企業におけるIRのあり方に焦点をあてた「IRP(インベスター・リレーションズ・プロフェッショナル)養成講座」を開講してまいりました。本年も、7月1・2日の両日にIRP養成講座を開講させていただきます。

これらを踏まえ、本年の第3回IRO養成講座では、投資ユニバースに含まれている発行体または投資ユニバース入りを目論んでいる発行体を主たる対象にし、「企業戦略としてのIR」をテーマにカリキュラムを編成いたしました。そのポイントは、「活きた情報提供でなければ、投資家をはじめステークホルダーとの適切な関係は創れない」、「オーバーフローする企業情報を、どうしたら活きた情報に甦生させられるのか」、「エンタプライズ・リスク・マネジメントとしての情報開示」の3点に要約できます。



- 1) 「ナンバーワンよりオンリーワン」が標榜されることに示されるように、自らのコンピテンシーを支える経営資源は手許に置く一方で、それ以外のは外部のステークホルダーとの協働関係を形成することにより賄うことが経営効率を高める戦略課題であることが認識され始めています。
- 2) IRに優れていると称されている企業の情報提供の実態は、そのホームページに掲載されている内容を一覧すれば明らかですが、法定開示資料や適時開示資料に加え、任意開示資料として決算説明会や事業説明会の資料はもちろん、さらに環境報告書、社会責任報告書、知的財産報告書、技術説明資料など、多岐にわたる開示が行われています。時々々の要請に応えることを優先し、次々に開示内容を継ぎ足してきた現実の姿を見ることができません。情報利用者の情報認知許容能力や理解能力への配慮が欠けた結果、努力して作成した情報が期待した成果を引き出せないばかりか、企業の情報開示に関する統一的マネジメントもできにくい状況を生み出しています。
- 3) 証券取引所の求めによる開示書類への経営者の宣誓に加え、「会社法」の施行に伴い株式会社に厳しい経営規律を保つことが求められ、財務報告の内部統制への監査ばかりではなく、エンタプライズ・リスク・マネジメント(ERM)にも対応しなければならない状況となっています。
- 4) 相互持合の解消過程における外人持株比率の上昇に伴い、コーポレートガバナンスや社会責任のあり様が問われるだけでなく、機関投資家の積極的な議決権行使に関する新たな対応が求められはじめたばかりでなく、外国企業への三角合併が解禁されることによる敵対的買収への対応が喫緊の課題になっています。
- 5) 個人投資家への依存を高めようとするとき、インターネット取引を活用したデイトレーダーという新たなタイプの投機家への対処が必要になるなかで、投資クラブをどのように位置づけたらよいかの問いが問われはじめています。
- 6) SECの新たな摘発に伴いReg.FDのあり方が改めて問い直されていること、および2003年12月に改められたMD & Aガイドラインに従って一般投資家への理解可能性の向上が一層強く求められはじめています。
- 7) アナリストが担ってきた財務情報にもとづき投資価値を発見する伝統を尊重しつつも、財務情報の企業価値説明能力が低下するなか、わが国では知的資産経営報告のガイドラインが整備されました。この関係では、英国のOperating and Financial Reviewの制度化や国際会計基準理事会のManagement Commentary、さらには米国のEnhanced Business Reporting Consortiumの動きも意識しなければなりません。

このようななか、IR活動としては、資本市場における自社のポジションを客観的に分析し、事業ドメインにおける潜在的能力のなかから自社のコンピテンシーが何かを時系列と関連させて明らかにし、自社の価値形成がどのようなプロセスで実現されるかを資本市場関係者に説得的に説明し、あわせてこれらの開示情報を投資家以外の主要なステークホルダーとも共有できるように、それぞれの関心と理解力に応じて提供することが求められております。

インベスター・リレーションズ・プロフェッショナル(IRP)養成講座

開催期間: 2006.7.1(sat) - 7.2(sun)

【本講座の特長】

- 新規公開企業や上場予定企業の経営者や IR 担当責任者としてのキャリアを志向する方、またこれから IR 活動を積極的に取り組みたいと考えている企業の経営陣、IR 責任者など 25～40 名の参加者で構成
- 早稲田大学ビジネススクールの専任教員に加え、IR 活動実務ないし関係実務教育のエキスパート、さらにプロの投資家を講師とする講義と、4～5 人を 1 グループとするケース作成実習を含む演習を併用
- 各講師が本講座のために準備するオリジナル教材と関係資料を使用
- 履修内容の修得証明と講座修了証の交付

【カリキュラムと担当者】 スケジュールおよび担当者は若干変更する可能性があります。

	時間	分類	内容	講師
7/1 (土)	1 時限(9:00 ~ 9:30)	プレイズメント	開講の辞・参加者紹介 / 価値未発見企業に必要な IR とは	花堂 靖仁
	2 時限(9:30 ~ 10:40)	IR 環境編	最近の株式市場と IR における課題	宮永 雅好
	3 時限(10:50 ~ 12:00)	IR 環境編	資本市場規制をめぐる最近の動向	大崎 貞和
	昼食時(12:05 ~ 13:20)	ショート・プレゼン	日本企業の IR の現状	岩田 宜子
	4 時限(13:30 ~ 14:40)	実践編	外国人・機関投資家向け IR の実際	鈴木 直樹
	5 時限(14:50 ~ 16:00)	実践編	個人投資家向け IR の実際	北澤 千秋
	6 時限(16:10 ~ 17:20)	実践編	具体的事例でみるターゲティング(個人・機関・外国人投資家)	岩田 宜子
7 時限(17:40 ~ 19:00)	ケース演習	!PO 企業における IR プレゼン / 講義&グループワーク	花堂・宮永	
7/2 (日)	1 時限(9:00 ~ 10:10)	理論編	企業価値評価の実際 / 成長企業の評価ポイント	西山 茂
	2 時限(10:20 ~ 11:30)	理論編	見えざる企業価値の開示に向けて	花堂 靖仁
	昼食時(11:40 ~ 13:10)	ケース演習	グループワーク	花堂・宮永
	3 時限(13:15 ~ 14:15)	発展編	内部統制をめぐる最近の動向と IR	吉村 貞彦
	4 時限(14:20 ~ 15:20)	発展編	IR と企業防衛 / 敵対的 M&A・ガバナンスの実際	高山 与志子
	5 時限(15:30 ~ 16:20)	発展編	新会社法の施行と IR	宮永 雅好
	6 時限(16:30 ~ 17:00)	ケース演習	各チームでのプレゼン準備	花堂・宮永
	7 時限(17:10 ~ 18:30)	ケース演習	ショートケース発表&講評	花堂・北川・宮永・高山
		修了式	修了式およびパーティー	

【担当講師陣 (予定)】

大崎 貞和	早稲田大学ビジネススクール・野村資本市場研究所	北川 哲雄	青山学院大学教授
西山 茂	早稲田大学ビジネススクール教授	北澤 千秋	日経マネー 編集長
吉村 貞彦	早稲田大学ビジネススクール 新日本監査法人	宮永 雅好	アイ・アール・ビー(株) 専務取締役
花堂 靖仁	早稲田大学ビジネススクール教授	岩田 宜子	ジェイ・ユーラス・アイアール(株) 代表取締役
鈴木 直樹	シュローダー投信投資顧問(株) ディレクター	高山 与志子	ジェイ・ユーラス・アイアール(株) マネージングディレクター

【受講料】

¥157,500- (税込 教材費・懇親会およびパーティー費を含む)

インベスター・リレーションズ・オフィサー (IRO) 養成講座

開催期間: 2006.9.4(mon) - 9.8(fri)

【本講座の特長】

- ・ 実務経験を活かしIROへのキャリアアップを志向する方ないし執行役員としてIROを担うことになる方 20~25名で構成する小人数編成
- ・ 5日間にわたり全25コマで編成する集中方式
- ・ 早稲田大学ビジネススクールの専任教員に加え、IRをはじめ関連実務の専門家ないし実務教育のエキスパートを講師とする講義に4~5人を1グループとするケース作成実習を含む演習を併用
- ・ 各講師が本講座のために準備する教材と関係資料を使用
- ・ 履修内容の修得証明と講座修了証の交付

【カリキュラムと担当者】 スケジュールおよび担当者は若干変更する可能性があります。

	時間	分類	内容	講師
9/4 (月)	1時限(10:00~11:20)	講座開始にあたって	企業の戦略展開とIR / 事務局連絡	花堂 靖仁
	2時限(11:30~12:30)	IR環境編	企業年金連合会から企業に期待するもの	鹿毛 雄二
	3時限(13:30~14:30)	IR環境編	セルサイドアナリストから見た日本のIR	松島 憲之
	4時限(14:40~15:40)	IR環境編	運用機関から見た日本のIR	蔵元 康雄
	5時限(15:55~16:55)	IR環境編	資本市場の規制の展開方向とIR	大崎 貞和
	6時限(17:00~18:00)	IR環境編	東京証券取引所の展開方向	長友 英資
9/5 (火)	1時限(10:00~11:20)	実務基礎編	企業財務とIR	高橋 文郎
	2時限(11:30~12:30)	実務基礎編	会計基準と開示ルールの最近の動向	吉村 貞彦
	3時限(13:30~14:50)	実務基礎編	会社法施行とIR ~ M & Aの新局面	鳥飼 重和
	4時限(15:00~16:00)	実務応用編	敵対的M & A企業防衛の実務	岩田 宜子
	5時限(16:15~17:45)	実務基礎編	デットIR	松田 千恵子
9/6 (水)	1時限(10:00~11:20)	実務応用編	資本コストの改善とBSC	西山 茂
	2時限(11:30~12:30)	実務応用編	米国におけるREG.FDとガバナンス	高山 与志子
	3時限(13:30~14:30)	実務応用編	子会社上場とグループIR	稲岡 稔
	4時限(14:40~15:40)	実務応用編	内部統制の理解とその開示	鳥生 裕
	5時限(15:55~16:55)	実務応用編	経営戦略としての知的資産経営	住田 孝之
	6時限(17:05~18:00)	ケース作成	プレゼンへの準備	花堂・北川・宮永
9/7 (木)	1時限(10:00~11:20)	IR実践編	決算説明会から見る問題点	北川 哲雄
	2時限(11:30~12:30)	実務応用編	非財務情報開示の動向	芝坂 佳子
	3時限(13:30~14:30)	実務応用編	XBR Lの活用	篠井 大祐
	4時限(14:40~16:00)	IR実践編	IR実践のポイント	本多 淳
	5時限(16:15~18:00)	ケース作成	プレゼンへの準備	花堂・北川・宮永
9/8 (金)	1時限(10:00~11:20)	IR実践編	プレゼンの実施	花堂・北川・本多・宮永・前田・高山
	2時限(11:30~12:30)	IR実践編	プレゼンと評価	花堂・北川・本多・宮永・前田・高山
	3時限(13:30~15:30)	総括	IR担当者に求められる知識・スキルをどう情報提供に活用するか	花堂・北川・本多・宮永・高山
		修了式	修了式およびパーティー(於:リーガロイヤルホテル)	

【担当講師陣(予定)】

大崎 貞和	早稲田大学ビジネススクール 野村資本市場研究所	篠井 大祐	あずさ監査法人 マネジャー
吉村 貞彦	早稲田大学ビジネススクール 新日本監査法人	鳥生 裕	あずさ監査法人 シニアマネジャー
西山 茂	早稲田大学ビジネススクール 教授	芝坂 佳子	あずさ監査法人 マネジャー
花堂 靖仁	早稲田大学ビジネススクール 教授	松田 千恵子	(株)コーポレートディレクション アソシエイトパートナー
高橋 文郎	青山学院大学 教授	松島 憲之	日興シティグループ証券(株) マネジングディレクター
住田 孝之	経済産業省 技術振興課長	前田 正吾	シュローダー投信投資顧問(株) 日本株式運用統括
鳥飼 重和	鳥飼総合法律事務所 代表	蔵元 康雄	フィデリティ・ジャパン・ホールディングス 取締役副会長
稲岡 稔	(株)セブン&アイ・ホールディングス 執行役員	北川 哲雄	青山学院大学 教授
鹿毛 雄二	企業年金連合会 常務理事	宮永 雅好	アイ・アール・ビー(株) 専務取締役
長友 英資	(株)東京証券取引所 常務取締役	岩田 宜子	ジェイ・ユース・アイアール(株) 代表取締役
本多 淳	ジー・アイアール・コーポレーション(株) 上席アドバイザー	高山 与志子	ジェイ・ユース・アイアール(株) マネジングディレクター

【受講料】

¥420,000(税込、教材費・懇親会およびパーティー費を含む)。なおIRP養成講座ご参加の場合、¥367,500(税込)となります。

Investor Relations Officer / Investor Relations Professional